

2016年度 聖学院大学総合研究所  
カウンセリングシンポジウム  
物語に学ぶ心の世界  
〈生きるための知恵〉  
実施結果-アンケート集計結果の概要

物語には、生きるための知恵が隠されています。  
天使ミハイルが格闘し、アナグマが心静かに手紙を書き、謎の教師が不気味に笑う。今回は、そんなファンタジーの世界に入っていきます。そこでは、人生と愛、大切な人たちに残せるもの、怒りの表現などいろいろな知恵が扱われます。

日時 2016年11月11日（金）15：20～17：45  
（開場14：50）

場所 聖学院大学ヴェリタス館教授会室

### 【プログラム】

#### 開会挨拶

高橋義文（聖学院大学総合研究所所長）

#### 講師紹介

藤掛 明（聖学院大学総合研究所カウンセ  
セリング研究 研究代表）

講演Ⅰ 物語より 「人は何で生きるか」

堀 肇（聖学院大学総合研究所特別研  
究員、臨床牧会スーパーバイ  
ザー）

講演Ⅱ 映画より 「アナと雪の女王」「暗殺教室」

藤掛 明（聖学院大学総合研究所カウ  
セリング研究 研究代表 聖学  
院大学院准教授、同大学人間  
福祉学部こども心理学科准教  
授）

講演Ⅲ 絵本より 「わすれられないおくりもの」

村上純子（聖学院大学人間福祉学部こ  
ども心理学科准教授）

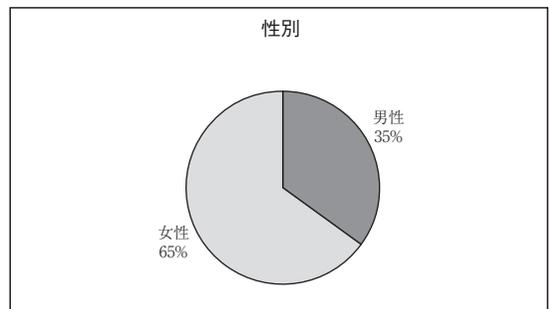
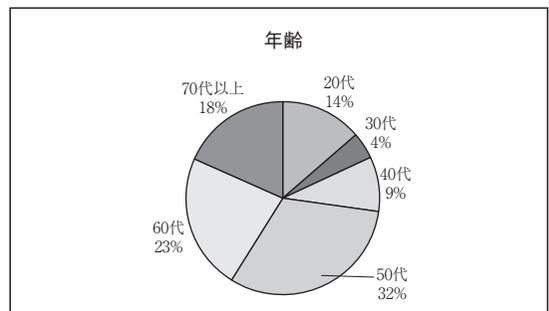
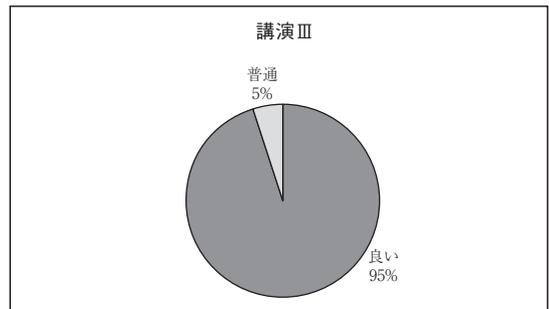
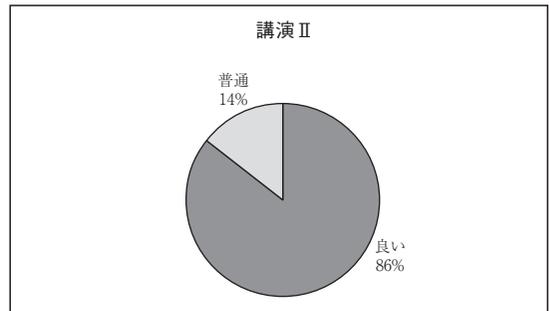
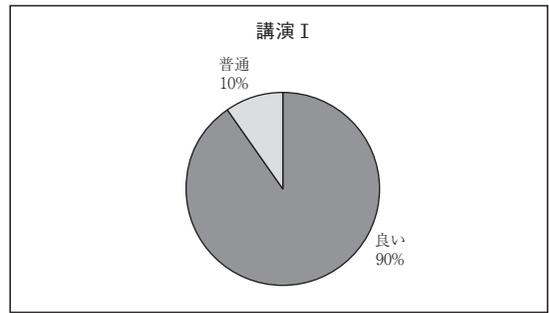
#### 質疑応答

司 会 藤掛 明

#### 閉会

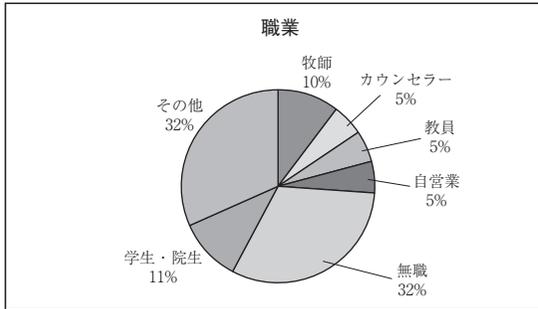
### 【結果の概要】

- ・参加者は44名。内、アンケート回答者22名。
- ・講演について、「良い」という意見が講演Ⅰ90%、講演Ⅱ86%、講演Ⅲ95%といずれも高い評価を  
だった。
- ・自由意見としては、「物語の深い見方、感じ方に感動した」「生きることをもっと真剣に考えな  
ければ」「またの機会を楽しみにしています」など。

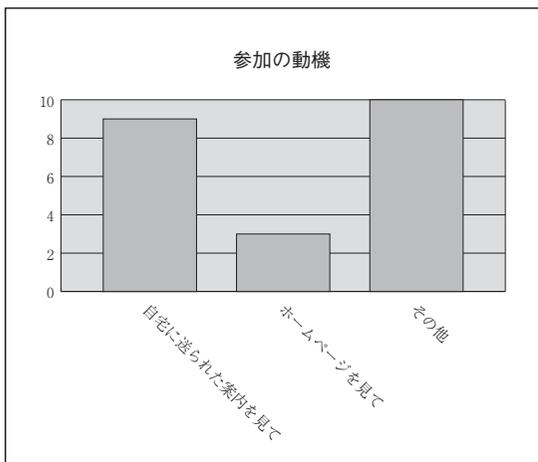


\* 回答者のプロフィールとして、年齢は「50代」  
が32%と最も多く、次に「60代」23%となった。

性別は、「女性」65%、「男性」35%だった。



\*職業別では、「学生・院生」「牧師」が多かった。「その他」の内容は、「福祉施設職員」「介護士」「保育ヘルパー」「団体職員」など。



\*参加の動機として、「自宅に送られた案内を見て」が最も多かった。「その他」の内容は、「講師の先生の講座を受講して」「友人の誘い」「講師の紹介」「ブログをみて」など。

#### 今後の講演会について

- ・世の中の潮流に添わせた（心理面を含めて）展開での講演会になると聴きごたえ感があるかもしれません。
- ・また次回を楽しみにしています。3人の先生方のお話はとても楽しく感動しました。
- ・学び（ワークショップ）があるとよいと思っている。
- ・HPにこれからも掲載してほしい。
- ・来年もぜひ物語シリーズの開催を期待しております。
- ・東日本大震災に関わる被災者の「心のあり方」

などの講演を聴きたい。

- ・「物語に学ぶ心の世界」本当に楽しく面白いです。もっと友人をお誘いすれば良かったなどと思います。
- ・これからも定期的に行ってほしいです。心に深く残り平安な気持ちになります。

#### 自由意見

- ・各先生方のお話を大変感心を持って聞くことができました。特に藤掛先生の愛と怒りの統合について心に残りました。どうもありがとうございました。
- ・大変久しぶりに出席させていただきました。毎回、心が落ち着くのを感ずると、世の中で生きることの大変さの両極面をひしひしと考えさせられます。又の機会を楽しみにしております。
- ・物語に学ぶ心の世界というテーマのご講演は初めて伺った。脳が活性化しました。物語の深い見方、感じ方に感動いたしました。ありがとうございました。
- ・『わすれられないおくりもの』の絵本は大好きです。それから自分の死を考え、生を考えられる、考えて生きて行かなければと思った。怒ってはいけない、冷静にと思っていたが怒りは大切だ。
- ・作品を通して展開された心の世界に感動した。作品の中にたくさんの心の状態を知ることができて感動しています。
- ・映画、小説、絵本の物語のなかにある心の世界を見ることができて良かったです。
- ・怒り→愛と統合、コントロール、納得！！愛があれば当然“人間捨てたものではない！”今を受け入れよう！
- ・興味深い話がお聴きでき感謝でした。30分では語り尽くせない気がしますが、良くまとめられていて、良かったです。生きることをもっと真剣に考えねばと思わされました。ありがとうございました。
- ・『わすれられないおくりもの』はいつ読んでも胸があつくなります。自分で一つ気がついたのは、いつも森の動物の立場でした。“あなぐま”の立場の方が年齢的に近いのに、これからは“あ

なぐま”さんにならなければいけないんだなーと  
気づきました。

- ・三つの講演は良かった。ただし一つ一つが短くて、じっくり考える余裕がなかった。二つくらいに絞ってと思っているけど、どうなのか。
- ・ある共同体の中において、とても居心地の悪い状態が続いていた。それはある特定の人に対する嫌悪感によるもので、「神を知らない者は愛を知らない、持っていない」と上から目線で見ている私が居たのだが、そういう自分が愛のない者であると自覚することができ、愛を受けるものであるからこそ、愛を与える者に変えていただきたい。その為にそのことに気づかされる共同体が与えられていることに感謝します。
- ・怒りはため込んではいけない。深く考えさせられました。自覚できると自分を抑制（爆発しないで気持ちを伝える）できるのですね。愛によって行動すると雪解けする。最近の出来事と重なり納得しました。すべてにおいて愛ある行いは平和を創る。愛する者（私に足りないことに気づかされました）=信じる者、愛はネガティブ感情だけではない。感謝します。
- ・出席の方が（前々回などより）少なくて残念。みなさん時間がとりにくいのでしょうか。人数が大事とは限りませんが、もっと多くの方たちと分かち合いたいものです。
- ・現代の共同体でのコミュニケーションのとり方、愛について学び、生きる力が与えられ、本（トルストイ）の中から深く感じ取る大切さを知り、良い本を読んでいこうと思わされました。
- ・怒りについて、孤独、孤立、自分で全てを支配している時におきると解り、深く考えさせられました。また解決方法も学び、これからの生きる糧、希望ができました。
- ・家族への贈り物、はっと思わされました。丁寧に生きようと反省しました。楽しいひと時をありがとうございました。
- ・役立つお話をありがとうございました。
- ・今回は男性の講師の方の話し方が早く、はっきりしなくて聞き取りづらかったのが残念でした。
- ・今回HPの申し込みが見つからず、Faxがないのであきらめようと思っていたのですが、再度試

してみたらやっと見つかりました。今でも「物語に学ぶ心の世界」じかで見えてないのですが何か理由があったのでしょうか。